

島根労働局発表

平成27年5月28日

担 当	島根労働局職業安定部職業対策課
	職業対策課長 松本 聡史 障害者雇用担当官 山本 幹彦 TEL 0852-20-7022

## ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数が過去最高を更新 — 平成26年度障害者の職業紹介状況等 —

島根労働局（局長 古田宏昌（ふるた こうしょう））は、平成26年度の障害者の職業紹介状況をまとめましたので、公表します。

ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数は、過去最高であった平成25年度の700件を上回る753件（7.6%増）となり、平成17年度以降10年連続で過去最高を更新しました。

### ◎ 障害者の職業紹介状況の主なポイント

- 新規求職申込件数は、1,310件で対前年度比156件（13.5%）の増。  
就職件数は、753件で対前年度比53件（7.6%）の増（前年度700件）。

【表1・図1、表2・図2】

	新規求職申込件数		就職件数	
	26年度	25年度（対前年度比）	26年度	25年度（対前年度比）
身体障害者	352件	330件（22件、6.7%増）	179件	175件（4件、2.3%増）
知的障害者	251件	259件（▲8件、3.1%減）	186件	143件（43件、30.1%増）
精神障害者	612件	488件（124件、25.4%増）	331件	330件（1件、0.3%増）
その他の障害者（注）	95件	77件（18件、23.4%増）	57件	52件（5件、9.6%増）

- 就職状況を産業別にみると、「医療、福祉」199件（26.4%）、「卸売業、小売業」139件（18.5%）、「製造業」118件（15.7%）が多くなっている。【図3】

- 就職状況を職業別にみると、「運搬・清掃・包装等の職業」176件（23.4%）、「事務的職業」161件（21.4%）「サービスの職業」130件（17.3%）が多くなっている。【図4】

（注）その他の障害者は、「発達障害者」、「難治性疾患者」、「高次脳機能障害」及び「その他の障害者」である。

# 平成 26 年度障害者職業紹介状況

島根労働局

## 1. 求職申込件数

求職申込件数は、1,310 件で前年度比 156 件（13.5%）増となりました。これを障害種別にみると、身体障害者は 352 件で同 22 件(6.7%)増、知的障害者は 251 件で同 8 件（3.1%）減、精神障害者は 612 件で同 124 件（25.4%）増、発達障害者は 38 件で同 3 件（8.6%）増、難治性疾患者は 34 件で同 5 件（17.2%）増、高次脳機能障害者は 5 件(前年度求職申込はなし)となりました。

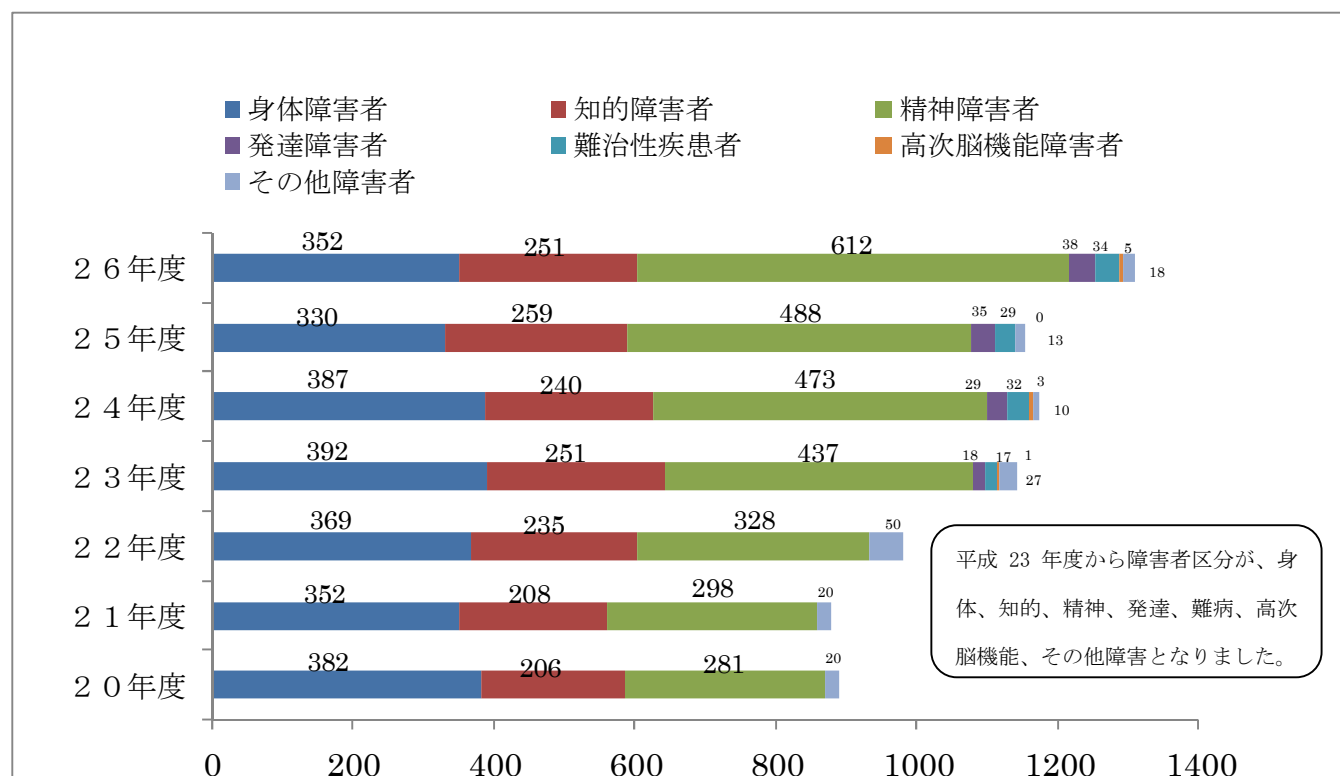
【表1】 新規求職者の障害別状況

(単位:人:%)

	新規求職申込件数							
	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患者	高次脳機能障害	その他	
平成26年度	1,310	352	251	612	38	34	5	18
平成25年度	1,154	330	259	488	35	29	0	13
前年度比	13.5	6.7	▲ 3.1	25.4	8.6	17.2	-	38.5

【図1】 新規求職者の障害別状況

(単位:人)



## 2. 就職件数

ハローワークにおける障害者の就職件数は、毎年増加傾向が続いており、平成 26 年度の就職件数をみると、753 件で前年度比 53 件（7.6%）増となり、平成 17 年度以降 10 年連続の増加となり過去最高を更新しました。

これを障害区分別にみると、身体障害者が 179 件で同 4 件(2.3%)増、知的障害者が 186 件で同 43 件（30.1%）増、精神障害者が 331 件で同 1 件（0.3%）増、発達障害者が 20 件で同 1 件（4.8%）減、難病障害者が 22 件で同 2 件（10%）増となりました。

なかでも精神障害者は、平成 18 年度から精神保健福祉手帳を所持する精神障害者を法定雇用率に算定できることとなった以降、9 年連続で増加を続けています。

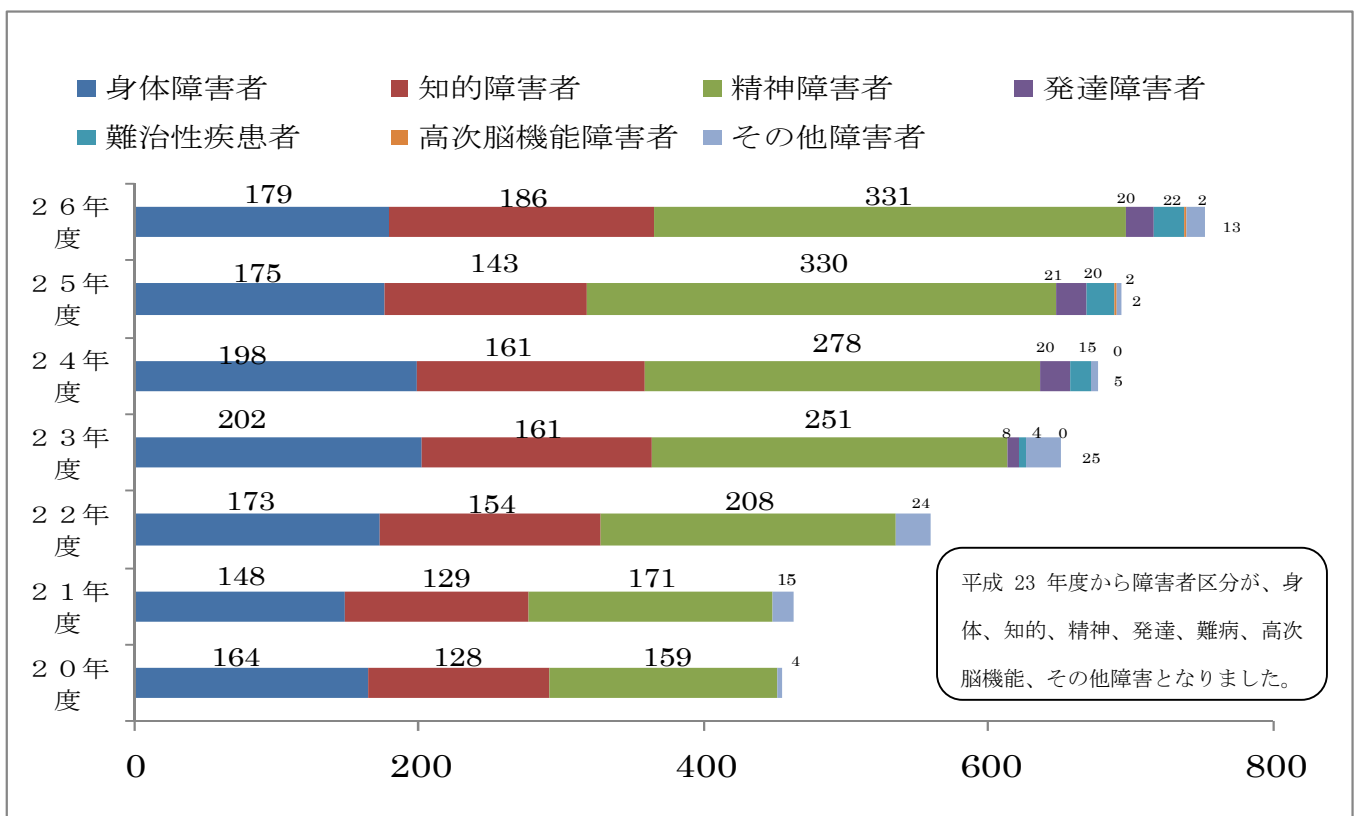
【表2】 就職件数の障害別状況

(単位:人:%)

	就職件数							
	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患者	高次脳機能障害	その他	
平成26年度	753	179	186	331	20	22	2	13
平成25年度	700	175	143	330	21	20	2	9
前年度比	7.6	2.3	30.1	0.3	▲ 4.8	10.0	0.0	44.4

【図2】 就職件数の障害別状況

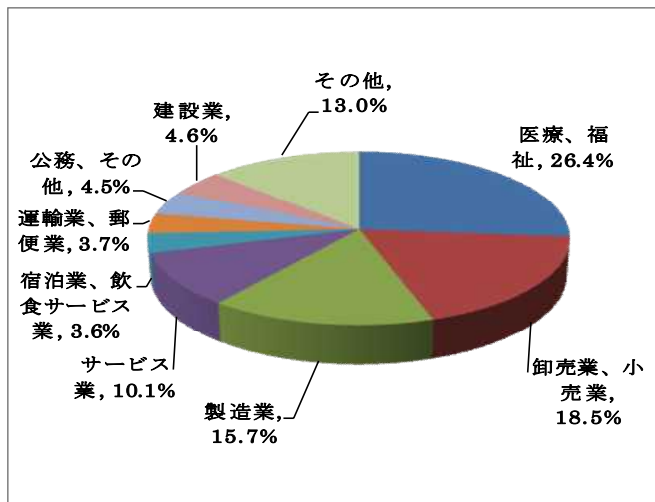
(単位:人)



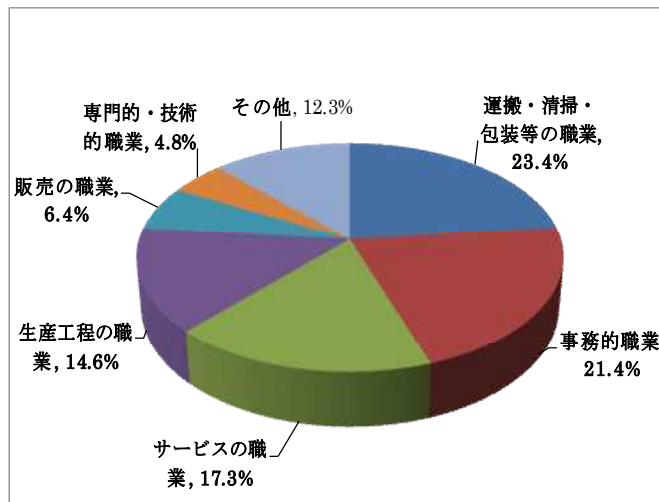
就職状況を産業別で見ると、医療、福祉が最も多く26.4%(199件)、次いで卸売業、小売業18.5%(139件)、製造業15.7%(118件)、の順となっています。

職業別で見ると、運搬・清掃・包装等の職業が最も多く23.4%(176件)、次いで事務的職業21.4%(161件)、サービスの職業17.3%(130件)の順となっています。

【図3】 産業別就職状況



【図4】 職業別就職状況



### 3. 解雇者数

平成26年度の解雇者数は9人となっており、前年を1人上回りました。そのうち事業廃止等によるものは8人でした。

【表3】 解雇者の状況

(単位:人:%)

	①解雇届提出があった事業所数	②解雇者数		③解雇理由				④障害種別		
		うち派遣労働者の数		事業廃止	事業縮小	本人の責	その他	身体	知的	精神
平成26年度	7	9	0	7	1	0	1	4	5	0
平成25年度	6	8	0	6	1	0	1	5	3	0
前年度比	16.7	12.5	-	16.7	0	-	0	▲ 20.0	66.7	-

【図5】 障害者解雇者数の推移

